

令和3年度使用 中学校各教科 教科用図書の選定結果のまとめ

鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会

中学校各教科

教科	選定結果 発行者略称 記号・番号	選 定 理 由
国 語	光村図書 国語 704 804 904	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的な学びを促すために、学習過程が明示してあり、身につける力の焦点化が図られている。個→集団→個という流れで対話的に学びを深められるようになっている。 ・深い学びができるように「学習の窓」で、汎用的な読みのポイントを図解とともに示してある。 ・「なにができるようになったか」を自分の言葉で書く振り返りが設定されている。 ・「情報の取り扱い方に関する事項」を解説した「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」を図解とともに一覧にしてある。 ・汎用性の高い思考法や可視化の方法を「思考の地図」として紹介し、他教科や日常生活等で広く応用できるようにしてある。 ・同一領域の指導事項を系統的に指導できるよう教材が配列されている。各学年とも単元の配列を同様にし、小・中9年間の系統を重視した教材構成や表記の工夫等がなされている。
書 写	光村図書 書写 704	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆練習帳「書写ブック」を新設し、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を豊富に設定している。硬毛との密接な関連を図りながら、毛筆での学習が硬筆に生きるよう工夫されている。 ・日常生活において適切な文字の使い分けができるよう、発達段階に応じて系統的に配列されている。 ・3年間の学習を振り返ることができる「書写テスト」を設定し、振り返りができるよう工夫されている。 ・国語科の教科書に掲載されている古典作品などとの連携が図られている。 ・教科書紙面にQRコードがある教材には、運筆動画や、用具の準備・片付けの解説動画などがタブレット等を使って閲覧できるようになっている。
社 会 (地理的 分野)	帝国書院 地理 703	<ul style="list-style-type: none"> ・「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という構造化された展開で統一されていて、学習内容が定着するように配慮されている。 ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の学習では、主題を中心とした展開に配慮しながら、自然環境、生活・文化、産業をバランスよく扱うことで、正しい国土理解と異文化理解が行えるように配慮されている。 ・コラム「未来に向けて」が25か所設置され、持続可能な社会をつくるための人々の取り組みを示すことで、自身が社会にどのように参画していくかを発展的に考えることができるように配慮されている。 ・本文ページ下段に「小学校・歴史・公民との関連」コーナーが設置され、校種や分野を横断して接続できるように配慮されている。 ・「節(章)の問い」を受けて単元末に「学習を振り返ろう」が設置され、地理的な見方・考え方を働かせて課題を振り返ることで、思考力・判断力・表現力を高めながら深い学びが実現できるよう配慮されている。

<p>社会 (歴史的 分野)</p>	<p>東京書籍 歴史 705</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代の導入で写真や年表、小学校で学んだ人物等のイラストがあり、小学校の学習との系統的な接続を図りながら、時代を大観できるように工夫されている。 ・章末に設けられた、チャート図やランキング等を作成することで、歴史的な見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に思考を整理し、その時代をまとめることができるよう工夫されている。 ・よりよい社会を実現しようとする態度を養うために、身近な地域の歴史を調べる活動や、教科書全体でSDGsについて意識しながら取り組める学習活動や、「みんなでチャレンジ」という参加型、対話的な学習が随所に設けられている。 ・写真や地図、グラフなどが豊富に掲載され、資料番号が本文中にも挿入され、本文と資料との関係がとらえやすく工夫されている。 ・資料を読み取る際の視点を明確に示している。加えて、資料の実寸をイメージしやすいように、寸法が明記されていたり、特に重要な資料は大きく掲載されたりと、生徒にとって理解しやすい配慮がされている。 ・単元を貫く探求課題が導入部に設定され、「つかむ」「追及する」「解決する」という学習の流れや、「集める」「読み取る」「まとめる」という技能を活用する流れによって、生徒が主体的に基礎的・基本的な知識・概念、技能を確実に習得できるように配慮されている。
<p>社会 (公民的 分野)</p>	<p>東京書籍 公民 901</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を追究する過程において、1時間の授業ごとに学習のめあてを提示する「学習課題」、社会的な見方・考え方を捉えさせるプロセスとして学習課題を解決するための「チェック」・「トライ」が、見開き2ページの始めと終わりに掲載されている。また、「チェック・トライ」の二段階で学習内容を確認できるよう、工夫されている。 ・「社会的な見方・考え方」を習得させる一連の活動として、導入では既得の見方・考え方を働かせ、展開では見方・考え方を捉えさせ、終末では見方・考え方を働かせる流れが構造化されており、効果的である。 ・章末には「まとめの活動」のページがあり、各節ごとに「探求のステップ」とする課題解決を補助する問いが段階的に提示されている。 ・単元を貫く「問いを解決しよう」という表現で全単元統一され、各単元における導入活動とリンクさせたまとめの活動が設定されており発展的に考えることができるよう配列に工夫がある。 ・「問い」を解決する過程において、ツールミン図法や座標軸など多様な思考ツールが提示され、思考を整理するのに効果的である。 ・章はじめの導入部では「小学校の社会で習ったことば」が明示されていたり、地理・歴史・公民のつながりを示す分野関連マークがあったり、系統的、横断的構成になっている。
<p>地図</p>	<p>帝国書院 地図 702</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各地方全てに、自然環境、人口、産業、交通の四つの事象の資料図が設置されている。また、事象を同縮尺で示すことで、分布の特徴や事象間の因果関係を比較・関連させて考えやすいよう配慮されている。 ・世界の各州には、自然環境や文化、生活、産業などのイラストを配した見開きの「鳥瞰図」があり、地域の特徴を視覚的に捉えることができるよう工夫されている。 ・学習指導要領に合わせて、世界は州ごと、日本は地域ごとに地図・資料が構成されている。資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が選ばれていて、発展学習に利用しやすいように配慮がされている。 ・「地図活用」コーナーが設置され、地理的技能、社会的な見方・考え方を働かせた学習に活用できるよう配慮されている。 ・全ての地図は色使いなどの工夫により、地形や特色をとらえやすく配慮されている。

<p>数 学</p> <p>東京書籍</p> <p>数学</p> <p>701</p> <p>801</p> <p>901</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得のために、問の中でも例題と似た型の問題に◆マークをつけ、スモールステップで取り組める構成になっている。また、補充問題を巻末に用意し、類題の繰り返し学習ができる内容になっているなど、個に応じた指導が効率的にできるように工夫されている。 ・ 問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を各章に設け、「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」の過程に沿って問題や発問を提示することで、「思考力・判断力・表現力」が身につくように工夫されている。 ・ 各章の導入では、身近な場面を題材とした課題が設定されており、生徒の意欲・関心を高める工夫がされているとともに、描かれているキャラクターの対話を基に、問題を解決していく活動を通して、主体的・対話的な学習につながるようになっている。さらに、導入で扱った内容やそれにかかわる内容を利用の場面等で再度扱うことによって、深い学びが実現されている。 ・ 算数と数学の学びをつなぐ単元として、1年生の内容の最初に「0章 算数から数学へ」が設定され、小中接続を意識した数学的活動を通して、発表の仕方や聞き方などの学び方を学び、以後の学習で生徒が主体的に取り組めるように配慮されている。 ・ 「学びのつながり」や「ちょっと確認」、「発展」では、「学習内容の系統性を重視し、スパイラルな学習や、円滑な指導が行えるような配列」となるよう工夫されている。 ・ 巻末の「補充の問題」「数学の自由研究」において、生徒の個人差に対応して補充的、発展的な学習が行えるようになっている。また、学習指導要領に示されていない内容には「発展マーク」を示し、生徒の興味・関心に応じて取り上げられるようになっている。 ・ 特別支援教育および色覚特性の専門家による校閲を受け、全ページにわたって検証が行われており、例や問の範囲を示す縦線等、教科書の「ユニバーサルデザイン」に対応する工夫がされている。
<p>理 科</p> <p>啓林館</p> <p>理科</p> <p>705</p> <p>805</p> <p>905</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が理解しにくい内容や誤解しやすい内容に「例題・練習」、「なるほど」のコーナーが設置され、基本的な知識の定着が図れるよう工夫されている。また「表現してみよう」で、観察・実験の結果を科学的な言葉や概念を用いて表現したり、説明したりする活動が設定されている。 ・ 単元導入に新設された「学ぶ前にトライ！」で、単元を貫く本質的な問いが設定されており、生徒が何のために学ぶのか」が意識できる。更に、単元末の「学んだ後にリトライ！」では、単元導入の問いを再考することで、自身の成長や学びの深まりが実感できるよう工夫されている。また「部活ラボ」や「お料理ラボ」など日常生活や社会との関連付けた内容が充実し、理科を学ぶ有用性を実感できると共に興味・関心を高めつつ、生徒への主体性や探求心を育むことにつながる。 ・ 「探Q実験」では、理科の見方・考え方を働かせたキャラクターの対話例が示されており、対話が豊かになるよう配慮されている。問題を見いだす場面や実験計画を立てる場面、考察の場面での対話例を通して、探究の過程において着眼させたいポイントを示すなど、話し合い活動の充実につながるよう工夫されている。 ・ 単元末の「みんなで探Qクラブ」では、身に付けた探究の力を自由研究やパフォーマンス課題などとして活用し、科学的に探究する活動を通して、深い学びにつながるよう工夫されている。 ・ 「科学にアクセス」の二次元コードを読み取ると、単元の導入動画が視聴でき、生徒の興味・関心や学習意欲が向上するよう配慮されている。 ・ サイズがワイド化されたことで写真と図が豊富に掲載され、それらが大きくダイナミックにレイアウトされている。生徒の探求心や興味・関心が高まることにつながる。 ・ 巻末にある探Qシートは各単元に設定された「探Q実験」に対応しており、生徒自身が主体的に探究できるような工夫がみられる。また裏面の探Qラボを活用することで、さらに探求活動をサポートできるようになっている。

<p>音楽 (一般)</p>	<p>教育芸術社 音楽 702 803 804</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において目標とする学習内容やその方法などの情報が明確に示されている。 ・「深めよう！音楽」では学習の具体的な手順や取り組み方がわかりやすく示しており、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して表現や鑑賞の学習を深めることができるよう工夫されている。 ・「音楽的な見方・考え方」を学ぶ際の大切な視点となる「音楽を形作っている要素」が各教材に例示されており、音楽科の確かな学力を育むための工夫がなされている。 ・「My Melody」「Let's Create!」などでは1年生から3年生までが段階的に発展していく内容の教材となっており、発達段階に応じた創作活動ができる工夫がなされている。 ・音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、生活や社会の中で生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。 ・学習内容をまとめた「学びの地図」で1年間の学習の見通しをもつとともに、「音楽を形づくっている要素」のページにおいて各学年の重要な学習事項を、生徒自らが振り返って確認することができる配置となっている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用している。タイトルや文章だけでなく、楽譜中の歌詞にも使用することで、可読性、可視性が高まり学習しやすいよう配慮がなされている。
<p>音楽 (器楽)</p>	<p>教育芸術社 器楽 752</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領と関連して、「知識及び技能」の習得に関する目標の達成に向けて、曲想と音楽の構造などとの関りについての気付きや理解を促す内容のキャラクターの吹き出しが適切に配置されるなど工夫されている。 ・「深めよう！音楽」では学習の具体的な手順や取り組み方をわかりやすく示しており、生徒がアンサンブルをする上での工夫について自分の考えをもち、友達との交流を通して表現活動を深めることができるよう工夫されている。 ・各楽器のページにおいては、生徒の実態に合わせて基礎的な技能・奏法を習得できるよう、丁寧な説明や、きめ細かな配慮がなされている。 ・リコーダーの学習では、小学校からの接続や系統性が確保されており、アルトリコーダーとソプラノリコーダーの音色や運指の違いを比較しながら協働的な表現活動が進められるよう工夫されている。 ・楽器を演奏する際の姿勢や楽器の扱い方等を学んだりすることにより、生徒の豊かな情操を養うとともに、伝統文化の尊重や国際理解等の道徳性を養うことができるよう配慮されている。 ・様々なジャンルの名曲の旋律をリコーダーや和楽器等で演奏することを通して、それらに親しむことができるよう配慮がなされている。 ・ICT機器を活用し、紙面上の二次元コードやURLにアクセスすることによって、音声や動画、楽器の解説等のコンテンツを視聴・閲覧することができるよう工夫されている。

美術	日本文教出版 美術 703 803 804	<ul style="list-style-type: none"> ・3分冊の構成になっている。「美術1」では、小学校の図画工作からの繋がりがりや関連と、3年間を見通せる導入のページから始まる。美術との出会いから、学びの実感と広がり、学びの探求と未来、というテーマで「美術1」から系統的に「美術2・3上下」に発展していく構成になっている。 ・育成すべき資質・能力の三つの柱に基づく「学びの目標」を生徒向けの言葉で設定し明示してある。三つの柱に基づいて学習できるよう、題材が意図的に関連づけて構成され、発達段階に応じた指導ができるようになっている。 ・題材ごとに多くの参考作品が掲載されており、美術科ならではの見方を育む「造形的な視点」や「作者の言葉」から、生徒が主体的に考えて活動に取り組み、他者との対話や学びを深めるきっかけとなっている。巻末資料「学びを支える資料」で、基礎的な知識や技法を紹介するなどの工夫がされている。 ・各学年の教科書は、A4サイズより横幅があり、見開きの作品には、今までにない迫力がある。原寸大の作品を多く掲載している。美術1「屏風、美のしかけ」では実際の屏風のように折り立てて鑑賞できる図版があり、より実物の作品鑑賞に近い体験ができるような工夫がされている。 ・鑑賞では、日本に関するもの、歴史的なもの、現代社会の問題を取り上げたものなど、豊富に取り上げられている。木工や版画についても、版画の仕組みや、浮世絵版画の制作工程や技法、木の制作や伝統工芸品等を紹介しているので取り組みやすい。
保健体育	東京書籍 保体 701	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が掲載されており、教科書の「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」4ステップ構成を理解し、保健体育の学習に主体的に取り組めるよう配慮されている。 ・各単元の「広げる」や章末の「日常生活に生かそう」には、学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けており、さらなる学びへの意欲を喚起するように工夫されている。 ・「見つける」では、日常経験などから自他の課題発見につなげる発問が設定され、学習課題を自分のものとし、主体的に課題解決に取り組むことができるように配慮されている。 ・「課題の解決」では、内容のまとまりごとに「発問」が設けられ、資料など主体的に読み解き理解できるよう配慮されている。 ・「活用する」では、他者に説明したり他者と話し合ったりする活動が設けられている。 ・本文側注欄には、随所に他教科との関連が示されている。また、Dマークコンテンツとして、他教科の教科書紙面を見ることができるよう工夫されている。
技術・家庭 (技術 分野)	東京書籍 技術 701	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の見方・考え方を働かせた深い学びを実現でき、技術による問題解決に主体的に取り組むことができる工夫がされている。また、技術分野の学習の意義や大切さが伝わる工夫がされている。 ・ガイダンスの内容が充実しており、社会の中で技術が果たしている役割をわかりやすく表現されている。見通しをもって学習に取り組める工夫や、他教科とのつながりがわかる工夫があり、生徒が主体的に学習できるよう構成されている。 ・各編の章構成を「理解する」「問題解決に取り組む」「つなげる、広げる」と統一されており、新学習指導要領解説で示されている学習の流れと一致している。各編には生徒が問題解決の学習に主体的に取り組めるように、問題解決例が豊富に取り上げられている。 ・巻頭に「技術を読み取る活動」「思考ツールの活用」「フィールドワーク」「インタビュー」「まとめと発表の仕方」などの学習方法を示すことで、主体的・対話的で深い学びが実現されるよう工夫されている。 ・豊富な写真やイラストが取り入れられておりわかりやすい。また、誰にでも読みやすく、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用しており、文章も本文や図表が読みやすく配置されているのでユニバーサルデザインへの取り組みも十分であると判断できる。 ・「技術は夢をかなえるためにある」「未来を創る問題解決」「技術の匠」など、生徒に技術分野の大切さを伝え、夢や希望を抱かせるような工夫が多数盛り込まれている。

<p>技術・家庭 (家庭 分野)</p>	<p>東京書籍 家庭 701</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「ガイダンス」が充実しており、小学校での学習内容を振り返るとともに、中学校3年間での学習の見通しを持てるよう工夫されている。また、「問題を解決する道筋」や「生活の営みに係る見方考え方」の例がわかりやすく示され、問題解決的な学習方法が定着できるよう工夫されている。さらに、「実習を楽しく安全に進めよう！」を設け、各編の実習の章においても「安全」「衛生」のマークなど、写真やイラストを用いて細かく注意を促している。 ・写真や図版は生徒の視線を大切にしており、発達段階に応じて理解できるよう、効果的に配置されている。 ・「リンク」マークを用い、他の分野で関わりのあるページを示したり、「他教科」マークを用いて他教科との関連についても明記したりと、横断的に学習内容が理解されるよう配慮している。特に、技術・家庭科の特質に応じた道德教育に関連する場面が随所に示され、道德教育の充実にも配慮がされている。 ・キャリア教育の関連として「プロに聞く」欄を設け、生徒の勤労観や職業観を育む工夫がされていると共に、巻末には「学んだことを社会に生かす」を設け、家庭分野の学習と将来や社会とのつながりを感じられるように工夫されている。 ・家庭科ならではの独自の言い回しや名称について「言葉のページ」が設けていたり、無料のデジタルコンテンツも用意されていたりと、生徒がわかりやすく学習を進められるよう工夫している。 ・ユニバーサルデザインの視点から、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、すべての色覚特性に対応できるような色になっている。
<p>英 語</p>	<p>東京書籍 英語 701 801 901</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との円滑な接続のために十分な期間（Unit0～5）をとり、小学校の音を中心とする学習を受けとめ、中学校における5領域の力をバランスよく育成する学習へと移行できるように構成されている。 ・各単元は、導入としての扉、新たな気付きを促すPreview、概要を把握するScene、まとまった分量を読んで表現につなげるRead & Thinkで構成されており、段階的に学習を進められるように配慮されている。 ・各学年3回ずつ設定されているStage Activityでは、複数の技能・領域を統合的に活用し、論理的に表現したり、伝え合ったりする力を育成できるよう工夫されている。 ・Let'sシリーズでは、よりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばすことができるよう工夫されている。 ・「学び方コーナー」では、英語学習のポイントやコツを3学年通して系統的に取り上げ、主体的な学習態度を育成できるよう配慮されている。 ・巻末のOptional Readingでは、高等学校の学習へ円滑につなぐため、段階的にリーディングの語数を増やし、読解力の育成が図れるよう工夫されている。
<p>道 徳</p>	<p>日本文教出版 道徳 704 705 804 805 904 905</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA18、B20、C46、D21の教材で構成されている。 ・4つの視点ともバランスよく取り上げられているが、内容項目「生命の尊さ」に関しては、全学年とも3つの教材が用意されており、特に重点化が図られている。 ・主題名が明確に記され、本時のねらいが理解しやすい。 ・リアルな挿絵や写真が多く、場面を捉えやすい。また、生徒の興味・関心をひきやすい。 ・「いじめと向き合う」という項目がどの学年にも設けてあり、「自分たちの問題として捉え、いじめを許さない心を育てる」教材が充実している。 ・生徒の実態に合わせて活用できそうな道徳ノートは、中心発問に対する自分の考えや友人の意見を記入する欄があり、話し合い活動に活用できる。また、実生活と結びつけて自分のこれからについて考えを記入させる欄もあり、発展的な学習ができるようになっている。生徒の変化・成長を見とる手がかりとなり、評価にも活用できる。